

南城市ソフトボール大会 新型コロナウイルス感染予防に配慮した 大会運営 ガイドライン

1 大会運営にあたって

- ① 大会当日、選手の健康状態を確認できる体制にすること。
- ② 選手には、免疫力を高めるため、十分な睡眠、バランスの取れた食事を心掛けさせること。

2 三密を避ける取り組み

- ① 大会会場に入場できるのは役員・各チーム選手、監督、コーチ、チーム役員（区長・自治会長）とする。
- ② 応援者については、自粛をお願いする。
- ③ 試合間の入れ替えについては、前の試合のチームがベンチから退出し、消毒後に次の試合のチームが入るようにすること。
- ④ ベンチ内についても、ソーシャルディスタンスに心掛け、選手同士の間隔を取り、接触を避けること。

3 検温及び健康観察について

- ① 大会当日の朝、必ず検温及び健康観察を行うこと。
 - ・熱はないか
 - ・咳や鼻水などの風邪症状はないか
 - ・強いだるさや頭痛はないか
 - ・息苦しさはないか※発熱や風邪症状のある選手やチーム関係者の大会参加・観戦は認めない。
- ② 検温後は、体温を健康状態申告書（団体用）に記入し大会本部に提出してください。（別紙）
- ③ エントリーシート及び健康状態申告書は、該当チームの第1試合開始前までに会場役員に提出すること。
 - ※体温・健康状態申告書に記載がない選手は参加を認めない。
 - ※途中参加の選手については、別紙、健康状態申告書（個人用）を本部に提出すること。
- ④ 大会会場入り後に発熱症状等、体調不良の選手は帰宅すること。
- ⑤ 大会終了後、帰宅後も健康観察を行ってください。

4 手洗い・うがい・消毒について

- ① 会場及びベンチへの入場前、入場後は手洗い・うがい・消毒を行うこと。
- ② 手洗い後の手を拭くタオルは共有しないこと。

5 マスク等について

- ① 基本的にマスクを会場入りから帰宅まで全員着用すること。
- ② アップ中・試合中の選手についてはマスクを外す。
- ③ 外したマスクは清潔に保ち、個別に分かるように保管すること。

6 試合中の注意事項

- ① 試合前やインニング間の声出しや円陣は行わないこと。試合中の声出しは可能とする。
- ② 試合前の整列は行わず、主審およびキャプテン同士のみで試合前の確認、試合開始の挨拶を行うこと。
その他の選手は、試合開始後、ベンチより各ポジションへ分散する。

- ③ 試合後の整列は行わず、主審とキャプテン同士のみで試合後の確認、試合終了の挨拶を行うこと。その際も握手はなしとする。
- ④ ボール、グローブ、バット、ヘルメット、キャッチャー防具などの共有する道具はチームでこまめに消毒すること。
- ⑤ タオル・給水用コップ・ボトルは共有しないこと。
- ⑥ 試合球については、こまめに消毒を行うこと。
- ⑦ 素手でのハイタッチや握手など肌と肌の接触は避けること。
- ⑧ 試合用のロジンバッグは両チームで別の物を使用すること。
- ⑨ 試合中にタイム取りマウンドに集まる場合は、選手同士の間隔を取り、接触を避けること。

7 審判員について

審判員のマスク・プロテクター・インジケータは試合後必ず消毒すること。

8 その他

- ① 大会終了後、チームが控えていた場所は、各チームで消毒を行うこと。
- ② 大会終了後、1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、体育協会事務局に速やかに連絡し、濃厚接触の有無等について報告すること。